



今日のキーワード コロナショックで『自転車利用』が急増

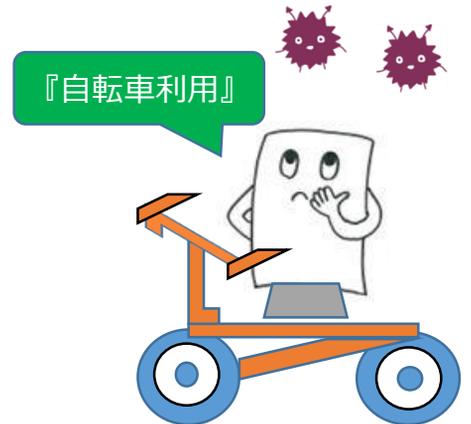
世界各地で新型コロナウイルスの感染防止のため、移動手段を電車やバスなどの公共交通機関から自転車に切り替える人が増えています。自転車は、コロナ感染のリスクが高い密閉・密集・密接の「3密」を避けられるうえ、環境にやさしく、健康増進にもつながるため、コロナショック後、『自転車利用』が急増しました。各国政府の政策支援の後押しもあり、『自転車利用』はウィズコロナの新生活様式になりそうです。

ポイント1 感染防止のため『自転車利用』が世界で急増

- コロナショック後、感染防止のため電車やバスなどの公共交通機関を避けるとともに、健康にもよい移動手段として自転車が注目され、世界で利用が拡大しています。各国政府も『自転車利用』を後押ししています。
- 世界で自転車関連機器を手掛ける仏エコカウンターによると、6月上旬の自転車の利用は例年比で独や仏、英国で4～5割増えた模様です。仏政府が修理に補助金支給を決めるなど、各国政府が地球温暖化対策にもなるとして、『自転車利用』を推奨し、道路など環境整備を進めていることも追い風になっています。
- インドネシアは自転車ブームに沸いています。コロナ感染の懸念から、公共交通機関やバイクタクシーの利用が規制されて乗り換えが進みました。首都ジャカルタでは自転車専用道路も整備されつつあります。

ポイント2 日本でも自転車通勤が増加

- 日本でもコロナ感染対策のため自転車通勤が増えています。au損害保険が都内在住の自転車通勤者500人を対象に6月に行ったアンケートによると、新型コロナ流行後に自転車通勤を始めた人は23%で、約4人に1人の割合でした。
- 自転車メーカーのシマノは7月28日、2020年12月期の連結純利益が前期比12%増となる見通しだと発表しました。新型コロナの影響で自転車部品が3～4月に落ち込んだものの、世界で通勤・通学に自転車を利用する人が増え、5月以降は需要が回復したようです。



今後の展開 『自転車利用』はウィズコロナの新生活様式

- 世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長は7月27日、新型コロナは過去の緊急事態と比べ、「最も深刻だ」と警告しました。世界で感染拡大が広がり、収束のめどが立っていない状況下、多くの国で人との接触を低減する手段として、『自転車利用』が推奨されています。今後も感染防止のために、通勤などの移動を自転車に切り替える人が増え、ウィズコロナの新しい生活様式の一つになると考えられます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも
チェック!

2020年7月29日 コロナ禍で車の『サブスクリプション』は拡大の方向

2020年7月22日 コロナ禍を契機に製紙業界の『ビジネスモデル』の転換が加速

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。